

## ✿ 新木簡データベース「木簡庫」の公開

2018年3月、奈良文化財研究所がこれまで公開してきた「木簡データベース」(1999年公開)と「木簡字典」(2005年公開)の統合が実現し、それぞれの利便さはそのままに、より使いやすいデータベースに生まれ変わりました。名付けて「木簡庫」。「木簡庫」には次のような特徴があります。

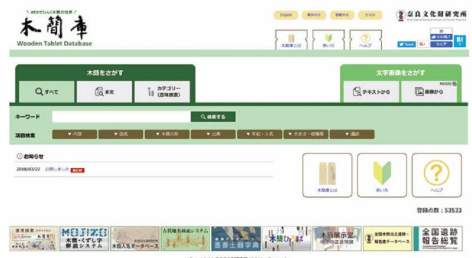
**1.木簡を検索するデータベースと、木簡の文字(画像)を検索するデータベースの共通の入口** テキスト情報を中心に木簡を検索する「木簡をさがす」(旧木簡データベース)と、画像を中心に木簡の文字を検索する「木簡の文字をさがす」(旧木簡字典の機能)を、同じ画面から選択して利用できます。

**2.テキスト表示と画像表示の相互移動機能** 「木簡をさがす」の検索結果一覧(テキスト表示)と、「文字画像をさがす」の検索結果一覧(文字画像表示)の間を、相互に往き来することができます。

**3.木簡の大きさや年紀の範囲指定検索機能** 従来「木簡字典」にしかなかった木簡の大きさや年紀についての範囲指定検索や、出典・遺跡名・型式番号等による検索結果のソートを可能にする等、検索機能を強化しました。

**4.様々な絞り込みやリンク機能** 検索結果一覧からの属性による絞り込みや、個々の木簡の詳細データ画面からの同じ属性をもつ木簡の再検索機能、あるいは出典文献のPDFへのリンク等、当該木簡の周辺情報の閲覧が便利になりました。

従来の木簡データベースや木簡字典と同様に、広くお使いいただき、忌憚のないご意見やご要望をお寄せいただければ幸いです。なお、「古代地名検索システム」も木簡にみえる地名を加えてリニューアルオープンしました。(副所長 渡辺 晃宏)



「木簡庫」のトップページ  
<http://mokkanko.nabunken.go.jp/>